

あり組の生活にも子どもたち一人ひとりのペースで慣れ、保育者に見守られることで行動範囲が広がってきました。つかまり立ちをして今までとは違う世界を楽しんでいる子ども、歩いたりハイハイやずり這いをしたりして好きな場所に行って探索活動を楽しむ子ども、寝返りをしたあと、元に戻れず精一杯声を出す子ども等、思い思いに過ごしています。また、穏やかな笑顔も増え、大きな声を出して笑う姿も見せてくれるようになりました。今後も子どもたちが泣いて何かを伝えようとしていたり、仕草で何かを表現したりする姿を大切に受け止め、園が安心して過ごせる場所になるように関わっていきたいと思います。

6月は3名の新しい友だちが加わります。雨の多い季節になりますが、室内でも身体を動かすことを楽しみ、雨上がりは散歩に出掛け、自然に触れて一緒に心を動かし過ごしていきたいと思います。



トンネルをくぐって遊んでいたAちゃん、トンネルの中で立ってみたいくなり立ち上がろうとしますが頭がつかえてしまいます。それでも何度も何度も立ち上がろうと頑張っていたAちゃん。チャレンジ精神旺盛な姿にたくましさを感じました！

ひよこ組になって2ヶ月が経ちました。午前中は大きく3グループに分かれて生活をしています。一緒に牛乳やお茶を飲んだり、戸外遊びの準備をしたりする中で子どもたちは少しずつ同じグループの友だちや保育者が分かりようになってきました。また、「ご飯たべるよ。」という保育者の声に、食事の時間であることが分かり、身の回りのことをしようとする姿も見られています。これからも小グループで過ごす中で、子どもがやってみようとする気持ちを大切に見守り、関わっていきたいと思います。

今年は梅雨入りが早く、大学構内への散歩の予定を変更することもありましたが、6月も梅雨の晴れ間に戸外遊びや散歩を楽しみたいと思っています。また、室内でも身体を動かす経験ができるよう準備し、七夕飾りの制作やパス画、シール貼りなど、じっくりと表現する遊びも楽しんでいきたいと思います。



保育室にある『ぺんぎんたいそう』（福音館書店）という絵本が大好きな子どもたち。保育者が読んでいると他の子どもたちも集まってくる。絵本に描かれているぺんぎんの動きの真似をして、首を伸ばしたり、ジャンプをしたりしています。とてもかわいい姿が見られ、ほほえましいです。これからもたくさんの絵本を楽しみたいと思います。

いつもより早い梅雨入りとなり、室内で遊ぶことが多くなりました。「今日も雨ぼったんだねえ」と窓の外を見て話している子どもたちです。晴れた日は戸外で友だちと手をつないで散歩を楽しんだり、大学の森で様々な自然物を見つけたりしています。園庭で保育者や友だちと「おばけだぞー」となりきって、追いかっこを楽しむ姿も見られ、友だちと遊ぶ楽しさを感じている子どもたちです。また、雨の日も室内で、飛び石や平均台で遊んだり、広いホールを使ってピアノに合わせてリズム遊びをしたりとたくさん体を動かして楽しんでいます。

今月もリズム遊びを経験する中で、体を動かす喜びや、ちょうちょやうさぎなど親しみのある生き物になりきって表現する楽しさを味わいたいと思います。また、七夕制作では、のりやシールを使った制作を楽しんでいきたいと思います。



りす組では、給食の配膳を子どもたちの目の前でしています。配膳をしながら、使われている食材について話しているときのこと…

保育者「今日は鶏肉、とりさんのお肉です」
子ども「とりさんがお外で集めて持ってきてくれたのかなあ」

子どもたちなりに想像を膨らませる様子が見られています。楽しい食事の時間になるように、子どもたちの興味関心に寄り添っていきたいと思います。